

分析メソッド	サンプリング			前処理				分析 LC-MS/MS	
	対象試料	必要量	保存条件	分析項目数	保持時間(日数)	メソッド	最終溶液	定量法	回収率
環水大発第2005281号 環水大土発第2005282号	公共水域・地下水	1000 mL	-	2	出来る限り早く	固相抽出・逆相 or 陰イオン交換	水1:メタノール1で1 mL	同位体希釈法	N/A
要調査項目等調査マニュアル	水質・底質	1000 mL 1g	冷暗所	2	出来る限り早く	水質:固相抽出(ODS)⇒酸性条件下で濃縮 底質:メタノールで超音波抽出(3回) ⇒固相抽出(ODS)で精製	水1:メタノール1で0.5 mL	同位体希釈法	70 % -120 %
JIS K 0450 70-10	工場用水、工場排水	100 mL ~ 1000 mL	暗所(0℃ - 10℃)	2 (19) (PFBS ~ PFOcDA)	出来る限り早く	固相抽出 (5種類のSPEの使い分けを付録Aに例示)	メタノール1 mL	内部標準法	70-125%
厚生労働省通知 別添4 水質管理目標設定項目の 検査方法	上水	500 mL	冷蔵	3	出来る限り早く	固相抽出(陰イオン交換)	アンモニアを0.1%含んだメタノール 0.5 mL	内部標準法	70-130%
衛生試験法・注解(2020年)	飲料水	500 mL	冷暗所	17	出来る限り早く	固相抽出(弱アニオン樹脂)	アンモニアを0.1%含んだメタノール 0.1 mL	内部標準法	-
上水試験法(2011年)	上水	500 mL	冷蔵	2	出来る限り早く	固相抽出(陰イオン交換)	アセトリル 1mL	内部標準法	-
EPA-Method533	飲料水	250 mL	酢酸アンモニウム 1 g/L	25	28 (抽出後、28日以内に分析)	固相抽出 弱イオン交換ミックスモード 高分子吸着剤 (pKaが8以上でなければならない)	試薬水2:メタノール8で1.0 mL	同位体希釈法	70-130%
EPA-Method 537	飲料水	250 mL	Trizma 5.0 g/L	18	14	固相抽出 スチレンジビニルベンゼン(SDVB)単一ポリマー	メタノール96%:水4%で1.0 mL	内部標準法	70-130%
EPA-Method 1633	水質、固形物(土壌、下水汚泥、底質)、生体試料	水質:500 mL (浸出液 100 mL) 固形物:5 g (下水汚泥 0.5 g) 生体試料:2 g	-	40	90 (<-20)	水質:固相抽出(Wax) 固形物:0.3%-アンモニア/メタノールで抽出 生体試料:0.03M-水酸化ナトリウム/メタノール・アセトリルで抽出 →固相抽出(GCB, Wax)で精製	5 mL	同位体希釈法	対象試料によって異なるため、表9を参照
EPA-Method 537 "Modified" (Eurofins Method)	水質(地下水、表層水) 土壌、底質、排水(放流水、流入水、汚泥)、魚の組織、埋立地、浸出液	10 mL	-	>14	28	水質:固相抽出(Wax) 土壌:メタノールで抽出	超純水1:メタノール1で0.125 mL	同位体希釈法 & 外部標準法	70-130%
ASTM D7979	水質(地下水、表層水、飲料水) 排水(放流水、流入水、汚泥)	5 mL	-	21(31)	28	メタノールを5mm添加 → ろ過 → pH3以下になるよう酢酸10μL添加	水1:メタノール1で10 mL	外部標準法	70-130%
ASTM D7968	土壌	2 g	-	21(31)	28	メタノール1:水1で10mL + 水酸化アンモニウム(pH9-10に調整) → 1時間振とう → 遠心分離 → ろ過 → 酢酸添加	水1:メタノール1で10 ml	外部標準法	70-130%